

# 浜松学芸高等学校 ボランティア部

高校生ボランティア・アワード2024

## 「地域・社会貢献を目指して」 《活動の紹介》

### 【地域貢献活動】

- (1) 定期的な施設訪問
  - ① 市内の子ども園（二か所）へ訪問し、子育て支援活動を実施
  - ② 市内の介護施設（一か所）へ訪問し、介護支援活動を実施
- (2) 地元のローカル鉄道沿線の植栽作業と除草作業を実施
- (3) 事業所や地区のイベントスタッフ
  - ① 障害福祉サービス事業所や社会福祉団体などの企画したイベントの運営
  - ② 事業所の企画したバナーにスタッフとして参加
  - ③ 地元の合同運動会にスタッフとして参加
  - ④ 浜松市の企画した「家康祭り」にスタッフとして参加

### 【社会貢献活動】

- (1) 街頭募金の実施
  - ① 地元福祉団体と協力し、浜松駅周辺でウクライナ支援募金活動を実施
  - ② テレビ静岡企画のFNSチャリティキャンペーン実施
  - ③ 厳しい環境下で生活する子どもたちを支援するため、街頭募金を実施
  - ④ 日本テレビ「24時間テレビは地球を救う」へ協力し、街頭募金を実施
- (2) 世界の難民への支援活動
  - ① ユニクロ・G.U企画の「服のチカラプロジェクト」に参加し、近隣の子ども園・幼稚園・小学校などの協力を得て、昨年度は約1万着の子ども服を難民に届ける
- (3) コロナ差別を中心に、差別をなくす呼びかけの実施
  - ① シトラスリボンのストラップを作成し、街頭募金時や文化祭時に無料で配る
- (4) 献血ポスターに就任
  - ① 献血の大切さを学び、校内外で献血への協力を呼びかける

### 【その他の活動】

- (1) 青ミカンプロジェクト
  - ① 地元のミカン農家の方に依頼し、ミカンの摘果作業に参加してもらい、摘果した青ミカンでジャムや飴燻などを作る
- (2) 特殊詐欺撲滅運動
  - ① 地元の警察署を訪問し詐欺の実態を調べるとともに、独自のチラシを作成し、学校近隣の家庭を訪問
  - ② さらに文化祭などを利用して、来校者や生徒たちにクイズ形式で詐欺の実態を知ってもらい、被害に合わないよう注意喚起



## 目指せ 成長！

高校生として「1up」

### 【活動目標】

本校ボランティア部は、地域に根差した支援活動から社会貢献に至るまで、多くの種類の活動をしています。それらの活動は、創部当初から継続している活動もあれば、近年新たにチャレンジしているプロジェクトまで様々です。活動の多くは施設や事業所から依頼されたものや企業の企画に協賛して始めたものですが、中には部員たちと「やってみよう」「やってみよう」と相談しながら始めた活動もあります。例えば、実家がケーキ屋をしている部員で、摘果作業で捨てた青ミカンをいただいて、クッキーやケーキを作ってみようという発案で始まった「青ミカンプロジェクト」や、なかなか減少しない特殊詐欺などに目を向け、地元の警察署を訪問し詐欺の実態や傾向を知ること、どうすれば防ぐことができるのか、自分たちにはどのような協力ができるのかなどを考え、現在では生活安全課の職員とともに家庭訪問やチラシ配布などの活動も企画しています。

近年、私たちの活動を知った施設や事業所から多くの依頼が来るようになりました。また国際交流・多文化共生を目指す交流会にも参加依頼があり、多くの人たちと繋がる良い機会も数多く得ました。

本校でもボランティア活動を希望する生徒は年を追うごとに少なくなっています。しかし、部員たちは「高校生でもできる支援活動」を目指して、地域貢献や社会貢献を実施しています。そして、この貴重な体験を通して人間としての成長である「心の1UP」を目指しています。この、授業では経験することができない体験は、他人を思いやる気持ちを持った優しい人間をつくることができると期待しています。

## 「1UP」を目指して 今そして...

現在の実績の紹介と今後の目標

### 子育て・介護支援

子ども園・介護施設への訪問



### 交流・勉強会

他団体との交流会・勉強会への参加



### イベント活動

事業所や地区のイベント



### 地域貢献活動

ローカル鉄道・浜松市活性化



### 過去の実績紹介

全国大会・表彰式



### 社会貢献活動

街頭募金・難民支援活動



### 新たなる挑戦

新プロジェクトへの挑戦



## 浜松学芸 ボランティア部

## 「笑顔を広げる活動」の実践 多くの人の喜んでもらえる活動

### 【支援活動の維持・発展】

- ① 施設訪問への積極的な参加
  - ① 現在訪問している施設は、二か所の子ども園と一か所の介護施設であるが、この幅を広げて多くの施設で支援活動ができるよう依頼している
- ② 支援活動参加への積極的な呼びかけ
  - ① 主に校内で活動参加を呼びかける
  - ② 現在ボランティア部員で行っている活動への参加を呼びかける。「服のチカラプロジェクト」では、着なくなった服の提供を、街頭募金では活動への参加を、校内放送や全校集会などを利用して呼びかけ、活動が子どもたちの笑顔につながることを理解してもらう
- ③ 外部との交流や意見交換会への積極的な参加
  - ① より視野を広げた活動にするため、他団体との交流が持てる活動への積極的な参加を目指す。事業所のイベント・企業の企画した活動などに積極的に参加し、いろいろな人たちの意見や考えを聞くことによって視野を広げていきたい

### 【新たな挑戦】

現在進行している「特殊詐欺撲滅運動」を成功させる。警察署の協力を得て、詐欺の現状や種類、詐欺を未然に防ぐ方法などの提案を校内外に広く呼びかけ、被害件数減少に尽力したい



### 浜松学芸ボランティア部の紹介

浜松学芸ボランティア部は、昭和53年に「社会奉仕部」としてスタートしました。当初の活動は施設訪問が主で、毎月1回のペースで訪問し支援活動を実施していました。その活動内容は、ここ数年で幅を広げました。主流となる施設訪問は、施設の数や訪問数も増えました。地域貢献活動としては、地元ローカル線や浜松市中心部の活性化のための活動、社会貢献活動としては、24時間テレビの募金活動を始め、海外の子どもたちの支援募金の呼びかけや難民の子どもたちへの衣料支援活動なども実施しています。また、支援活動で得た繋がりを利用した「いじめ問題研修会」を校内で開催したり、校外でも他校との積極的な交流会や意見交換会にも参加しています。今後この貴重な体験や交流によって、多くの人と繋がり、周囲の人たちへの支援活動だけでなく、自分たちの成長にもつながっていきたいと思います。